

持続可能な社会の創り手

木曾町立開田小学校【児童数 40 名（R6.4 時点）奥原成子校長】は、「自ら学ぶ子（知）心を豊かにする子ども（徳）身体を鍛える子ども（体）」を学校教育目標に、「ふるさとを愛し、志をもって未来を切り拓いていく子ども」をめざす子どもの姿に掲げ、日々の学校経営を進めています。

10月17日の「みちくさの時間」にお邪魔させていただきました。「みちくさの時間」は、ふるさと開田での原体験を重ねる機会を子どもたちに委ねる時間として、毎週木曜日の3時25分から4時10分まで設けている時間です。子どもたちは学校内外で、お友だちとのおしゃべりやキャッチボールなど思い思いの時間を過ごしていました。この時間には開田小学校応援団の皆さんも「みちくさ」を大いに楽しんでいただく時間ともなっていて、子どもたちやお仲間とゆっくり過ごしたり、見守りをしたり、自由に過ごす時間です。この日は5名の応援団の方がいらっ

しゃいました。応援団の方は「企画」を考えて、子どもたちに提供していただきます。この日は木曾



馬を連れてきた応援団の方が、子どもたちと馬とのふれあいのようすを温かく見守っていました。また、カフェを開いた応援団の方々も、昔の遊びをしている子どもたちの横で、やさしく見守っていました。とても温かなゆる〜い時間が印象的でした。「みちくさの時間」は、学校と地域で子どもたちを見守り、子どもたちに委ね、子どもたちの自立を促し、そして、子どもたちの自主性が育つ時間ともなっています。

奥原校長先生は、「子どもたちにとって開田地域がこれからも心の中で大切な場所として刻まれ、木曾馬やそば・白菜・トウモロコシなどの開田の特産物や開田の歴史などを学び、ふるさと開田の未来をつくる、その創り手に育ってほしいです。」と、語っていました。学習指導要領前文には「…多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにする…」とあります。開田小学校では地域と連携し、子どもが育つ地域づくりが進められています。

目指す姿
学びの成果が生きる生涯学習
～人がつながり、学び合う豊かな地域づくり～



重点目標
【社会教育】
「地域と共にある学校づくり」「地域づくり」「人づくり」を支援する
【社会人権教育】
「人」が大切にされる地域づくり支援
【生涯スポーツ振興】
「生涯を通じたスポーツを【する・みる・ささえる・知る】機会づくり」支援

令和6年11月8日

長野県教育委員会事務局
中信教育事務所生涯学習課
学校訪問だより【10】

長野県松本市島立 1020 松本合同庁舎内
TEL 0263-40-1977
FAX 0263-47-7840